

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

| | 単位 | 2021/12/31 | 2022/8/31 | 2022/9/9 | 過去3年高値 | | 過去3年安値 | |
|------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | (前年末) | (前月末) | (前週末) | 水準 | 日付 | 水準 | 日付 |
| 日経平均 | 円 | 28,791.71 | 28,091.53 | 28,214.75 | 30,795.78 | 2021/9/14 | 16,358.19 | 2020/3/19 |
| NYダウ | ドル | 36,338.30 | 31,510.43 | 32,151.71 | 36,952.65 | 2022/1/5 | 18,213.65 | 2020/3/23 |
| 円/ドル | 円 | 115.08 | 138.96 | 142.47 | 144.99 | 2022/9/7 | 101.19 | 2020/3/9 |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ インフレ緩和期待などから米国株市場が大幅上昇した流れを受けて上昇 ~

先週の日本株市場は、日経平均が+563.91円(+2.04%)、TOPIXが+35.36ポイント(+1.83%)となり、インフレ緩和期待などから米国株市場が大幅上昇した流れを受けて上昇しました。業種別でみると、精密機器、非鉄金属、ガラス・土石製品などの29業種が上昇した一方、海運業、鉱業、陸運業などの4業種が下落しました。

週初5日は、ロシアの国営天然ガス会社ガスプロムが欧州への主要ガス供給パイプライン「ノルドストリーム」の稼働を計画通りに再開できないと発表したことを受け、欧州の景気後退懸念の高まりから先々週末の米国株市場が主要株指3指数揃って下落した流れを引き継ぎ下落して始まりました。週中7日は、8月のISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことでFRB(米連邦準備理事会)が9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.75%の利上げを実施するとの見方が強まり、下落幅を広げました。しかし8日は、世界景気の減速懸念の高まりを背景に原油価格が急落したことや、過度な金融引き締めリスクや供給制約の緩和に言及したブレインードFRB副議長の発言がハト派的と受け止められたことなどから前日の米国株市場が大幅上昇した流れを受けて上昇し、その後も堅調に推移して引けました。

3. 今週の主な予定

| 日程 | 曜日 | 国・地域 | 項目 | 期間 | 前回 |
|-------|-----|------|-----------------------------|----|------------|
| 9月13日 | Tue | 日本 | 企業物価指数(前年比) | 8月 | +8.6% |
| | | ドイツ | ZEW期待指数 | 9月 | ▲55.3 |
| | | 米国 | CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比) | 8月 | +5.9% |
| 9月14日 | Wed | 日本 | 機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比) | 7月 | +0.9% |
| | | 欧州 | ユーロ圏鉱工業生産(前月比) | 7月 | +0.7% |
| | | 米国 | PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比) | 8月 | +7.6% |
| 9月15日 | Thu | 日本 | 貿易収支 | 8月 | ▲1兆4,339億円 |
| | | | 第3次産業活動指数(前月比) | 7月 | ▲0.2% |
| | | 英国 | BOE(イングランド銀行)金融政策委員会 | | |
| | | | ニューヨーク連銀製造業景気指数 | 9月 | ▲31.3 |
| | | 米国 | 小売売上高(除自動車)(前月比) | 8月 | +0.4% |
| 9月16日 | Fri | | フィラデルフィア連銀製造業景況指数 | 9月 | 6.2 |
| | | | 鉱工業生産(前月比) | 8月 | +0.6% |
| | | 中国 | 鉱工業生産(年初来/前年比) | 8月 | +3.5% |
| | | 米国 | ミンガン大学消費者信頼感指数 | 9月 | 58.2 |

| | | |
|----------|----|---------------------------|
| 決算発表予定 他 | 国内 | 決算発表 : 9/12 神戸物産 |
| | 海外 | 決算発表 : 9/12 オラクル 9/15 アトビ |

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 世界景気の減速懸念がある中で、主要経済指標の発表を控え弱含みで推移 ~

今週の日本株市場は、世界景気の減速懸念がある中で、主要経済指標の発表を控え弱含みでの推移が続くとみえています。

来週20-21日にFOMCを控える中で、今週は13日に発表される米CPIが注目されます。先月のジャクソンホール会議以降、米欧中央銀行の金融引き締め長期化に対する警戒感が概ね市場に織り込まれつつあります。但し、米CPIの構成要素の内、帰属家賃やサービス価格の高止まりが確認されれば、米利上げの到達点が引き上げられるとの見方や、来年後半に予想されている利下げが後ろ倒しされるとの見方が浮上する可能性があり、積極的な上値追いの動きは限定的とみえています。また、15日は米小売売上高や同鉱工業生産、16日は中国の鉱工業生産などの月次統計が発表されますが、①米欧中央銀行が金融引き締めを強化していること、②中国において一部都市でのロックダウンが実施されていることなどを背景に景気減速懸念がある中で、これらの内容が予想を下回れば株値の押し下げ材料になるとみえます。なお、15日の日本の貿易収支において赤字幅が拡大すれば、一段の円安が進行する可能性があることも注目されます。その他の注目材料として、日本では14日の機械受注、15日の第3次産業活動指数、米国では14日のPPI、15日のニューヨーク連銀製造業景気指数、16日のミンガン大学消費者信頼感指数、欧州では14日のユーロ圏鉱工業生産、ドイツでは13日のZEW期待指数、英国では15日のBOE金融政策委員会などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <https://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会